

[6091/5F-410-001]

Ver.27

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F410 インフルエンザウイルスB型抗体 [HI]

インフルエンザウイルスB型抗体

[HI]

influenza virus type B, viral antibodies

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6091

001

インフルエンザ B[HI]

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

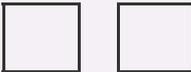
患者の検査前準備

検体採取のタイミング

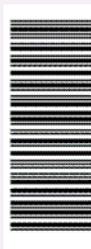
ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト

注 80 外



ウイルス



血液

中検外1

*_*_*_*_*-55032

**_*_*_*_*_*_*_*_*

C6

6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[6091/5F-410-001]

Ver.27

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F410 インフルエンザウイルスB型抗体 [HI]

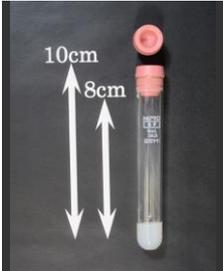
インフルエンザウイルスB型抗体

[HI]

influenza virus type B, viral antibodies

連絡先 3764

01	C6	凝固促進剤+血清分離剤(ピンク)	
採取材料	血液	採取量	6 mL
遠心分離		遠心	
測定材料	血清	測定必要量	0.4 mL



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵	4週				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間(検体量ある場合のみ)

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器

&nbsp;

[6091/5F-410-001]

Ver.27

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F410 インフルエンザウイルスB型抗体 [HI]

インフルエンザウイルスB型抗体

[HI]

influenza virus type B, viral antibodies

連絡先 3764

検査所要日数	3～5日
検査部門・委託先	外部委託（LSIメディエンス）
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	赤血球凝集抑制反応 (HI)

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	B型 (B-1)	10 未満	10 未満	倍
00	B型 (B-2)	10 未満	10 未満	倍

基準値情報

一般的な感染症抗体検査においては基準値が定められていないため、出発希釈倍率を基準値として代用しています。

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

インフルエンザは急性の呼吸器系感染症を代表するウイルス性疾患で、短期間に飛沫感染などによって人から人へと広がり、その症状は、発症時から全身症状（悪寒、発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、関節痛など）が強く、ついで上気道炎の症状（鼻汁、咽頭痛など）がみられる。また、二次的に併発する肺炎などによる死亡者の発生を防ぎ、社会的あるいは個人的被害を最小限に食い止めなければならない。したがって、かぜ様患者からインフルエンザウイルス感染者をウイルス学的検査と血清学的検査によって早期に確診することが有用である。

インフルエンザは抗原性の違いによりA、B、Cの3型に分類され、A型ではウイルス表面に存在するヘムアグルチニン（HA）の抗原性で16亜型に、ノイラミニダーゼ（NA）の抗原性に基づいて9亜型に分けられる。B、C型には亜型は存在しない。これまでに世界的な大流行を起こしてきたのはA型であり、HAやNA遺伝子の突然変異により変異株が次々に出現する。これまで流行したA型インフルエン

[6091/5F-410-001]

Ver.27

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F410 インフルエンザウイルスB型抗体 [HI]

インフルエンザウイルスB型抗体

[HI]

influenza virus type B, viral antibodies

連絡先 3764

ザはA/H1N1（ソ連型），A/H2N2（アジア型），A/H3N2（ホンコン型）という亜型である。

異常値を示す病態・疾患

インフルエンザB型, 合併症(肺炎・心筋炎・髄膜炎)

参考文献

国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学総論2版(丸善), 214~225 1973

エスアールエル 検査要項

石田正年. A・B型インフルエンザウイルス. 日本臨床. 1995, vol. 53, no. 増刊, p.281-287.

JLAC10

分析物	5F410	インフルエンザウイルスB型
識別	1430	ウイルス抗体
材料	023	血清
測定法	111	赤血球凝集抑制反応(HI法)

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2012/10/22	2012/11/01～	抗原株変更
3	2013/10/25	2013/11/01～	抗原株変更
4	2014/11/11	2014/11/04～	抗原株変更
5	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM)(検査内容の変更点なし)
6	2015/11/02	2015/11/02～	抗原株変更
7	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
8	2016/11/01	2016/11/01～	抗原株変更
9	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([1mL]⇒[3mL])

[6091/5F-410-001]

Ver.27

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査>>5F410 インフルエンザウイルスB型抗体 [HI]

インフルエンザウイルスB型抗体

[HI]

influenza virus type B, viral antibodies

連絡先 3764

10	2017/11/01	2017/11/01～	抗原株変更
11	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
12	2018/10/15	2018/11/01～	抗原株変更
13	2019/10/11	2019/11/01～	抗原株変更
14	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
15	2020/10/01	2020/11/02～	抗原株変更
16	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
17	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更
18	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
19	2021/11/01	2021/11/01～	抗原株変更
20	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
21	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
22	2022/10/25	2022/10/31～	抗原株変更
23	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
24	2023/11/10	2023/10/31～	抗原株変更
25	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
26	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定
27	2024/10/22	2024/11/01～	抗原株変更